

使用上の注意

Fiery Color Profiler Suite、バージョン 4.5.1

本書には、このリリースに関する重要な情報が記載されています。インストールを始める前に、この情報をすべてのユーザーに知らせてください。

メモ：本書では、Fiery Color Profiler Suite は「Color Profiler Suite」と表記します。

このバージョンの 新機能について

このバージョンの Color Profiler Suite では、以下の機能が新たに追加および強化されました。

- Color Profiler Suite は、Mac OS X v10.9 および Windows 8.1 をサポートしています。
- Color Profiler Suite は、パッチページの測定に、X-Rite i1 iSis (A4 およびレター形式) および X-Rite i1 iSis XL (A3 およびタブロイド形式) をサポートしています。
- パッチページとテストページは、ページフッターに追加情報が入り強化されました。
- Print Matcher は、テストページが改善されました。
- Device Linker では、デバイスリンクプロファイルまたはスポットカラーを繰り返し印刷およびカラーパッチの測定によって最適化するとき、印刷設定は一度のみ必要で、そのあとの繰り返しでは同様の設定が使用されます。

何らかの理由で繰り返しでの印刷設定を変更する必要がある場合は、Command WorkStation のジョブのプロパティでの設定を上書きできます。

- Command WorkStation が Color Profiler Suite と同じコンピューターインストールされていて、新規のキャリブレーションおよび出力プロファイルを作成する場合、ブラックコントロールのプロファイル設定 (最大 GCR 設定を含む) は Printer Profiler で使用できるものと同じです。

Color Profiler Suite のバージョン 4.5 では、以下の機能が新たに強化され導入されました。

- Fiery Print Matcher が、Fiery サーバーのカラー管理機能を使用して、Fiery 対応プリンターグループ全体の出力カラーを一定に保持します。複数のプリンター共通のキャリブレーションおよび出力プロファイルを作成できます。個々のプリンターの出力色空間をプリンター間に共通の色空間に変換する、デバイスリンクプロファイルを作成できます。
- Fiery Auto Verifier は、定期的にテストページを一台以上の Fiery サーバーに印刷できます。Auto Verifier でページ測定をして、カラーの正確性をチェックできます。
- Fiery Profile Inspector は、視覚的モデリング、プロファイルの表示、データ測定の機能をフルサポートしながら、より使いやすく改良されたインターフェースを備えています。
- Konica Minolta FD-5BT 蛍光分光濃度計は EFI ES-2000 分光光度計の代わりに、ドングルまたは測定計器として使用できます。
- Fiery Printer Profiler では、作成する CMYK プロファイルにおける照明の状況に関するプロファイル設定ができます。



- 新プリンタープロファイルを作成するとき、最大GCRと呼ぶ新規プロファイル設定が自動的に色分解設定（ブラックコントロール）を指定し、プロファイルのGCR（グレー置換）の設定を最大にします。最大GCRは印刷のグレーのバランスを向上させ、業界カラー標準を遵守し出力色域を最大にします。
- Fiery Color Profiler Suite Updater で、必要に応じて契約やメンテナンスの約款、アップグレードの状況の確認ができます。
- オンラインヘルプはウェブベースなので最新情報をいつでも参照できます。「ヘルプ」はお使いのデフォルトインターネットブラウザに表示されます。

測定器

iO テーブルが再接続後に認識されない

iO テーブルが接続された Mac OS で Color Profiler Suite を実行している状態で、iO テーブルまたは分光光度計のいずれかを取り外して再接続すると、iO テーブルが認識されなくなります。Color Profiler Suite で iO テーブルをもう一度使用できるようにするには、iO テーブルの電源をオフにし、再びオンにしてください。

2013 年以前の iO テーブルを購入している場合、この問題が起こることがあります。

ES-2000 の計測エラー

ES-2000 をルーラー付き（「ルーラー使用」をオンに設定）で使用している間に測定エラーが発生した場合、測定ページの位置が正しいことを確認してください。測定ページの位置を背景用ボードに合わせることで、測定の対象になる最初のストリップは固定クリップに最も近くなります。ルーラーをページの上部に配置して、最初のストリップ以外は見えないようにします。各ストリップの測定が終了したら、ルーラーを移動して次のストリップが見えるようにします。

配置が正確な画像を表示するには、Printer Profiler のページ測定画面で「方法を表示」リンクをクリックします。

Command WorkStation で X-Rite i1 iSis を使用するには

Command WorkStation のキャリブレーターから Printer Profiler を使用して、新規キャリブレーションを作成後に新規プロファイルを作成する場合は、レター /A4 サイズの X-Rite i1 iSis を使用して計測するとエラーが発生します。

レター /A4 サイズの X-Rite i1 iSis でプロファイルを作成する場合は、キャリブレーターからの Printer Profiler の代わりに Color Profiler Suite からのものを使用してください。

Barbieri SpectroPad

Barbieri SpectroPad を使用した測定で最良の結果を得るには、測定を行う前に常に測定器のキャリブレーションを行ってください。

Konica Minolta FD-5BT のキャリブレーション

Konica Minolta FD-5BT のキャリブレーションを行っている間は、キャリブレーションが完了するまで計器を押さえ続けます。キャリブレーションが完了する前に計器を離すと Color Profiler Suite は反応しなくなる場合があります。

Fiery サーバー

Color Profiler Suite の一部が表示されない

Fiery サーバーで Color Profiler Suite を実行する場合、Windows タスクバーの自動非表示機能は無効にしないでください。無効にすると、Color Profiler Suite の一部が表示されない場合があります。

Windows 7、 Windows 8

プロファイル名が文字化けする

非ASCII文字（日本語文字など）を含んでいる説明のプロファイルを保存した場合、Windows 7 または Windows 8 で起動しているアプリケーションで表示すると、説明の文字はASCII文字で表示されるため、化けることがあります。

Printer Profiler

Fiery サーバーの接続

Printer Profiler が Fiery サーバーに対して印刷や保存を行っている間に、サーバーへの接続が遮断された場合、予期せぬ結果をもたらす場合があります。

プロファイル処理中のキャンセル

新しいプロファイルの処理と保存が始まった直後に Printer Profiler をキャンセルすると、Printer Profiler は反応しなくなる場合があります。プロファイルの処理が始まったら5秒以上待ち、その後に保存をキャンセルしてください。

(Mac OS) スライダーは最大値を設定しない

Mac OS の Printer Profiler で、「CMYK パッチオプション」ウィンドウまたは「ブラックコントロールの編集」ウィンドウのフィールドを、スライダーを右の端までドラッグして最大値に設定しようとしても、表示される値は最大値よりもわずかに小さくなります。右矢印キーを使用すれば値を最大値まで増加させることができます。または、フィールドに直接最大値を入力してください。

一部の Fiery サーバーでの無効なキャリブレーション警告

Printer Profiler を使用して次のいずれかの Fiery コントローラー用のプロファイルを作成すると、測定結果が現在のキャリブレーションに一致しないという警告が表示されますが、この警告は無視して「続行」をクリックしてください。

メモ：この警告は、Color Profiler Suite の環境設定で「キャリブレーション確認許容値」が選択されている場合にのみ発生します。

- キヤノン imagePRESS Server A3200、A2200、A1200

- キヤノン imagePRESS Server A3100、A2100、A1100
- キヤノン imagePRESS Server A3000 または A2000
- キヤノン imagePRESS Server Q1 または Q2
- キヤノン imagePRESS Server T1
- キヤノン PS-GX100 または PS-GX200
- キヤノン ColorPASS-GX100 または ColorPASS-GX200
- キヤノンカラーネットワークプリンター Unit-H1
- キヤノン imagePASS-H1

パッチ ID の保存

印刷する前にパッチページのIDを保存するとき、フォルダーの場所は変更しないでください。パッチIDは必ず特定のフォルダーに保存してください。

オペレーティングシステム間でのパッチ ID とパッチページの転送

WindowsのPrinter Profilerでは、Mac OSのPrinter Profilerで作成したパッチIDは選択できません。また逆の場合も同様です。Mac OSのPrinter Profilerを使用して、WindowsのPrinter Profilerで作成したパッチページを測定できません。また逆の場合も同様です。

Profile Editor

プロファイルの保存 (Mac OS v10.7 および v10.8)

Mac OS v10.7およびv10.8でプロファイルをProfile Editorに保存する場合、フィールドに2バイト文字を入力し、Returnキーを押すと、その文字は有効であるとは見なされません。入力した文字を有効にするには、代わりにTabキーを押してください。

Mac OS v10.6.1 の Profile Editor

Mac OS v10.6.1のColor Profiler Suiteでは、Profile Editorは起動しません。Profile Editorを起動するには、Mac OS v10.6.5にアップグレードする必要があります。

Color Verifier

2 バイト文字のユーザー名

2バイト文字のユーザー名でコンピューターにログインするとColor Verifierは正常に動作しません。2バイト文字を含まない名前ユーザーとしてログインする必要があります。

UTF8 文字は未対応

Color Verifierは、ファイル名にUTF8文字を使用しているプロファイルを開けません。

印刷ラベルと印刷プロトコル (Mac OS)

(アジア言語のみ) Mac OSで、ラベルまたはレポートを(「ファイル」>「印刷」>「ラベル」または「ファイル」>「印刷」>「プロトコル」を使用して) Color Verifierで印刷すると、出力のテキストは文字化けし、グラフはレポートに印刷されません。

オンラインヘルプ

Color Verifierでオンラインヘルプを開き、デフォルトブラウザがGoogle Chromeの場合、ヘルプは表示されません。別のブラウザを使用してください。

Color Verifierでオンラインヘルプを開き、デフォルトのブラウザがInternet Explorerの場合、先にInternet Explorerのセキュリティ設定でActiveXのコンテンツを表示できるように設定する必要があります。設定されていない場合、ヘルプは表示されません。

Color Verification Assistant

ラベル印刷

WindowsのColor Verification Assistantでは、ラベル印刷をテスト結果とともにFieryサーバーに送信し、プリンタープロパティを変更しようとする「Fiery印刷」ウィンドウには何も表示されない場合があります。この場合、ラベルの印刷をFieryサーバーの「待機」キューに送り、Command WorkStationでラベル印刷のジョブのプロパティを設定する必要があります。

Color Verifier でのテスト結果の表示

Color Verifierでテストデータを表示するためリンクをクリックした場合、既にColor Verifierが開いているとデータは表示されません。開いているColor Verifierを閉じ、再度リンクをクリックする必要があります。

2バイト文字用に設定されたオペレーティングシステムのColor Verification Assistantでは、Color Verifierのテストデータを表示するためのリンクはエラーになりデータは表示されません。

Auto Verifier

テストページのためのCMYKソースプロファイル設定

Auto Verifierでは、Fieryサーバーの自動検証を有効にしている、CMYKソースプロファイル用にデフォルト設定を「変換を省略」に設定している場合(または同様の設定をしたサーバープリセットまたは仮想プリンターを選択した場合)、テストページは出力されません。CMYKソースプロファイルを特定のプロファイルに設定する必要があります。